

○計画期間：平成27年1月～平成32年3月（5年3月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成27年度終了時点（平成28年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成27年1月に国の認定を受けた「石巻市中心市街地活性化基本計画」に基づき、目指す「まち」の姿「彩り豊かな食と歴史が薫る川辺のまち」の実現に向けて、震災で甚大な被害を受けた中心市街地を市民との協働によって各復興事業を展開し、震災前の賑わいを取り戻すため、都市機能の回復及び更なる活性化を目指している。

本市の中心市街地は、景気低迷による小売業の業績不振や郊外型大規模小売店舗の進出による影響に加え、東日本大震災以降は甚大な被害を受けた事業所の閉店、人口減少の加速等、新たな課題も浮かび上がってきている。

このような中、公共交通の復興事業では、平成27年5月にJR仙石線が全線再開し、仙台と石巻間を短時間で移動できるようになり、通勤・通学だけでなく観光面にも波及効果を及ぼした。

平成28年9月には石巻市立病院の開院、また、スムーズな救急搬送や交通渋滞緩和を目的とした市立病院周辺道路の整備計画があり、今後の定住人口の増加が期待される。

その他、かわまち交流拠点整備事業として、観光交流施設の整備計画も進んでおり、観光と賑わい交流の拠点として、「かわ」と「まち」が一体的に機能する市街地整備を行っている。

様々な復興事業により中心市街地は着実に変化しているが、これからの少子高齢化社会に即した生活空間の創造も求められており、商業機能のみならず、まちとして必要な「住む」・「働く」・「学ぶ」・「楽しむ」等の機能の集積した中心市街地の活性化が必要である。

2. 平成27年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

石巻商工会議所や街づくりまんぼう、市が事務局となり、市民・事業者で構成する中心市街地活性化協議会において、市街地再開発事業の事業内容や手法の変更、事業実施期間の変更等について、官民が密接な連携をしながら中心市街地の活性化の総合的かつ一体的な推進に関する協議を行うこととしている。

平成27年度は、平成27年11月の協議会総会において、同年1月に認定を受けた計画の概要を説明し、活性化に向けた取組みの周知を図った。また、平成28年2月、計画認定から1年が経過し、実施予定事業の内容や進捗状況に修正が生じたことによる計画変更（平成28年3月認定）や最新の状況について、協議会総会で説明・意見交換を行い、理解を深めた。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
定住人口の増加	中心市街地における定住人口	2,777人 (H25)	3,812人 (H31)	2,882人 (H28.3)		①
交流人口の増加	2施設の利用者数	241,208人 (H25)	1,241,200人 (H31)	179,814人 (H28.3)		③
交流人口の増加	歩行者・自転車通行量	15,002人 (H25)	16,950人 (H31)	13,813人 (H28.3)		③

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地における定住人口」については、東日本大震災（平成23年）以降、年々減少傾向であったが、平成27年度は中心市街地内に災害公営住宅が完成したことで増加した。平成28年度以降も複数の災害公営住宅等の竣工が計画されている。

「2施設の利用者数」については、石ノ森萬画館の入場者数が再オープンで話題となった平成25年度に比べると減少しているものの、東日本大震災以前の水準に戻っている。

また、かわまち交流拠点整備事業として新たに整備される生鮮マーケットは、平成29年度の開業を予定しており、本指標は平成29年度以降に大幅に増加すると推測される。

「歩行者・自転車通行量」については、僅かながら減少となっているが、平成28年9月には市立病院、翌年には生鮮マーケットが完成することにより新規利用者が見込まれ、交流人口の増加が期待される状況となっている。

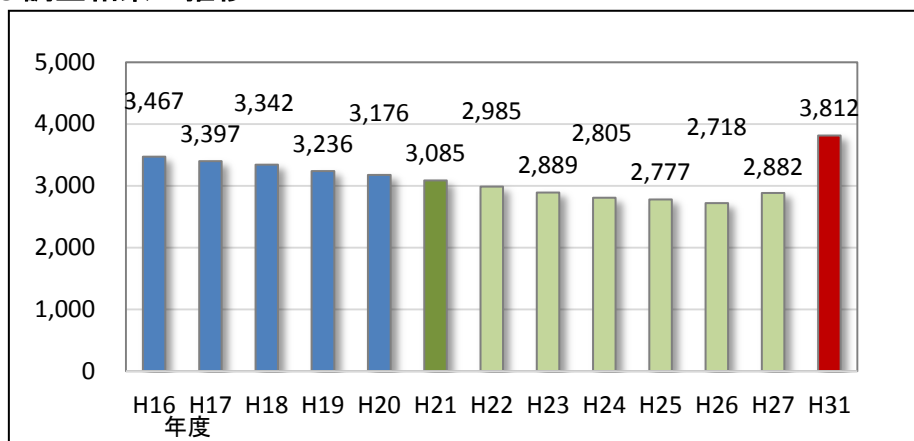
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「中心市街地における定住人口」※目標設定の考え方基本計画 P63～P66 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H23	2,889 人
H24	2,805 人
H25	2,777 人 (基準年値)
H26	2,718 人
H27	2,882 人
H31	3,812 人 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳法

※調査月：3月末日

※調査主体：石巻市

※調査対象：中心市街地に居住する人数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 復興公営住宅整備事業（石巻市）

事業完了時期	平成23年度～平成28年度【実施中】
事業概要	東日本大震災により住居を失った市民に対し、復興公営住宅の供給を図る。
事業効果及び進捗状況	<p>現在、中央一丁目地区など61戸が入居可能となっている。今後、新たに150戸が完成予定であり、さらに中心市街地の定住人口の増加が期待される。</p> <p>平成27年度は、平成27年10月に中央一丁目地区に51戸、平成28年3月には住吉町一丁目地区に10戸が竣工し、入居開始している。また、現在、日和が丘一丁目、中央一丁目南地区、中央一丁目東地区、立町二丁目地区で建築工事が行われており、何れも平成28年度内の入居に向けて事業を進めている。</p>

②. 市街地再開発事業（民間事業者）

事業完了時期	平成24年度～【実施中】
事業概要	被災市街地において、商業施設や住宅等の複合施設を建設するとともに、屋外空間の一体整備を行う再開発事業者に対し補助金を交付し、再開発事業を支援する。
事業効果及び進捗状況	現在、中央三丁目1番地区などにおいて134戸の民間住宅が入居可能あるいは入居済みとなっている。今後、新たに約90戸が完成予定であり、さらに中心市街地の定住人口の増加が期待される。 平成27年度は、立町二丁目5番地区では、平成27年7月に商業施設や高齢者向け施設等の整備工事に着手しており、また、中央三丁目1番地区では、平成28年1月に分譲住宅、店舗の複合施設が竣工し、入居開始している。

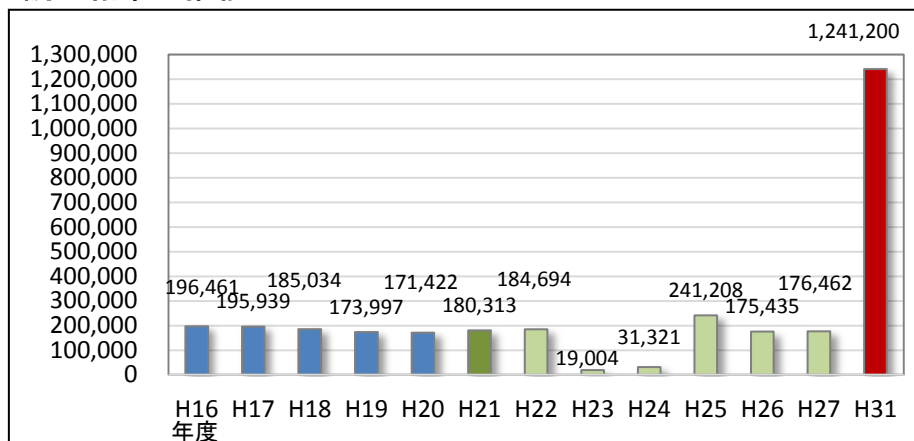
●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地における定住人口はほぼ横ばいの状況が続いているが、今後新たに公営・民間住宅の整備予定があること、また、市立病院の移転新築などの公共事業や民間で計画されている複数の市街地再開発事業との融合により、快適な居住環境の改善が図られ、将来定住人口の増加が見込まれる。

今後、年度ごとに事業の進捗状況等を調査し、状況に応じた改善措置を講じていく必要がある。

「2施設の利用者数」 ※目標設定の考え方基本計画 P67～P69 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H23	19,004 人
H24	31,321 人
H25	241,208 人 (基準年値)
H26	175,435 人
H27	176,462 人
H31	1,241,200 人 (目標値)

※調査方法：施設の利用者数の集計

※調査月：毎年度12月末

※調査主体：石巻市

※調査対象：石ノ森萬画館入場者数、観光交流施設利用者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 石ノ森萬画館実施事業（石巻市）

事業完了時期	平成13年度～【実施中】
事業概要	石ノ森萬画館にて、「マンガの街いしのまき」を体感してもらうきっかけづくりとして各種事業を開催する。
事業効果及び進捗状況	平成25年度は、リニューアルオープンのイベントや復興支援等の特殊要因があり、年間入場者数は241,208人の集客効果が生まれた。平成26、27年度の入場者数は減少するも、震災前の基準に戻っている。 平成27年度の主な事業として、アニメソングのライブや声優によるトークショー、劇団による公演等、多岐にわたるイベントの実施、また、企画展ではスタジオジブリの企画展示、連動したミニコンサートや「石巻カレー全集」を開発し、幅広い年齢層からの集客を図った。

②. かわまち交流拠点（生鮮マーケット等）整備事業（石巻市）

事業完了時期	平成25年度～平成32年度【実施中】
事業概要	街なかの賑わい創出を図るため、川と一体的なまちづくりとして、生鮮マーケット・公共施設・交通広場等で構成される観光交流拠点を土地区画整理事業等により整備する。
事業効果及び進捗状況	平成29年5月オープン予定としており、水産業界の失われた販路開拓や農産品の復興に繋がることが期待できる。「石巻市観光交流施設整備計画」に基づき、類似施設の実績を基にした複数の推計値の中間値に近い1,000,000人を利用者数と設定している。 平成27年度は土地区画整理事業の都市計画決定を行ったほか、観光交流施設整備として公共施設や生鮮マーケット、立体駐車場の検討を開始した。

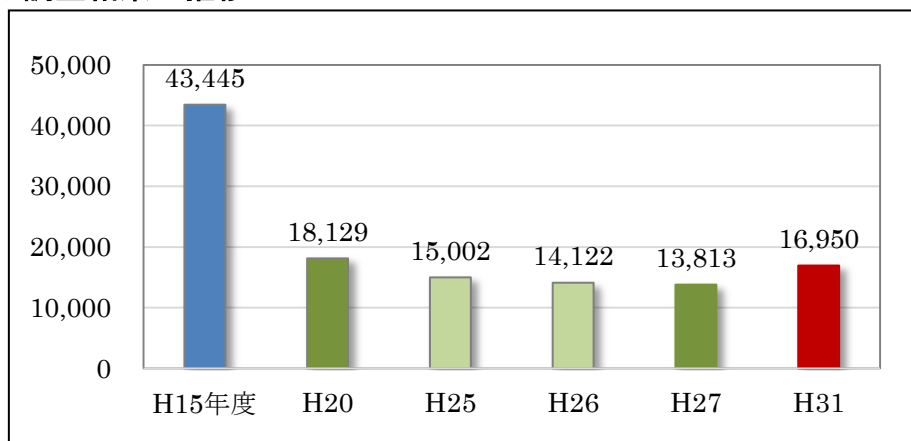
●目標達成の見通し及び今後の対策

施設の利用者数の最新値は基準値を下回っているが石ノ森萬画館の入場者数のみの数値であり、平成29年5月完成予定である生鮮マーケットの利用者見込数（1,000,000人）を加えると目標値に限りなく近づくものと想定される。

各施設の利用者数及び事業の進捗状況については、毎年度確認をするとともに検証を行い、目標値達成に向けた改善策を講じていく必要がある。

「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P67～P69 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H15	43,445 人
H20	18,129 人
H25	15,002 人 (基準年値)
H26	14,122 人
H27	13,813 人
H31	16,950 人 (目標値)

※調査方法：石巻市中心市街地通行量調査

※調査月：平成15年10～11月、平成20年5月、平成25年11月、平成27年3月、平成27年11月

※調査主体：石巻市

※調査対象：平日、休日における12調査地点の歩行者と自転車通行量の合算値

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 石ノ森萬画館実施事業（石巻市）

事業完了時期	平成13年度～【実施中】
事業概要	石ノ森萬画館にて、「マンガの街いしのまき」を体感してもらうきっかけづくりとして各種事業を開催する。
事業効果及び進捗状況	<p>平成27年5月にJR仙石東北ラインの開通により、移動時間が短縮し利便性が向上しており、石ノ森萬画館を訪れる歩行者・自転車の増加が見込まれることから、目標値を1,486人に定めている。</p> <p>平成27年度の入場者数は176,462人、電車を利用した来訪者割合は11.1%（ヒアリング調査による）であり、駅から徒歩で来館するにあたり通行量に相当程度貢献していると推測される。</p> <p>なお、「電車を利用した割合11.1%」は、平成26年8月のヒアリング調査による数値であり、その数値の増減を見せようとしたものではない。</p> <p>また、石巻駅の1日平均乗車人員の推移を見ると、平成24年度は2,077人、平成25年度は2,154人、平成26年度は2,057人となっており、電車の利用割合に大きな変動がないと考えられる。</p> <p>震災以降、仙石線区間内の高城町駅から矢本駅間の接続代行バス運行によって、仙台石巻間の交通の便に少なからず影響を及ぼしたため、震災前と比較し平均乗車人員は1,500人程減少となった。</p> <p>平成27年5月には、仙石線の全線開通により交通インフラが完全復旧しており、今後の1日平均乗車人員の増が見込まれ、ひいては石ノ森萬画館入場者の電車利用割合の増加に繋がるものと想定される。</p>

②. かわまち交流拠点（生鮮マーケット等）整備事業（石巻市）

事業完了時期	平成25年度～平成32年度【実施中】
事業概要	街なかの賑わい創出を図るため、川と一体的なまちづくりとして、生鮮マーケット・公共施設・交通広場等で構成される観光交流拠点を土地区画整理事業等により整備する。
事業効果及び進捗状況	<p>生鮮マーケットの完成によって、市民、観光客問わず全体の生活・買い物利便性の向上が期待されることから、生鮮マーケットを訪れる方の歩行者・自転車通行量の目標値を2,684人に定めている。</p> <p>施設の開業（平成29年5月予定）以降に実施する通行量調査の指標に反映されると推測される。</p> <p>平成27年度は土地区画整理事業の都市計画決定を行ったほか、観光交流施設整備として公共施設や生鮮マーケット、立体駐車場の検討を開始した。</p>

③. 石巻市立病院整備事業（石巻市）

事業完了時期	平成23年度～平成28年度【実施中】
事業概要	震災により、壊滅的な被害を受けた石巻市立病院について、今秋開院を目指し、再建整備及び医療機器等購入を実施する。
事業効果及び進捗状況	<p>JR石巻駅から市立病院まで徒歩での移動が可能な距離にあり、鉄道やバスを利用し通院する市民が多く見込まれることから、歩行者・自転車通行量の目標値を522人に定めている。</p> <p>開院（平成28年9月予定）以降に実施する通行量調査の指標に反映されると推測される。</p> <p>平成27年度の事業では、病院の再建整備や医療機器等の契約、及び医師や看護師等の医療スタッフの確保を進めた。</p>

④. 石巻市子どもセンター事業（石巻市）

事業完了時期	平成25年度～【実施中】
事業概要	子どもセンターにおいて、小中高生が中心となり中心市街地活性化に係る商店街との連携企画を実施し、一体となったソフト事業を展開する。
事業効果及び進捗状況	<p>当施設において、商店事業者と子ども達で企画したイベントを通して商店街の賑わいづくりを行うことにより、歩行者・自転車通行量の増加が見込まれることから、目標値を112人に定めている。</p> <p>平成27年度の入場者数は約3万人であり、駅から徒歩で来館するにあたり通行量に相当程度貢献していると推測される。</p> <p>平成27年度は、子どもエンパワー事業として「親子料理教室」等、子育て支援事業として「ベビーマッサージ」等を実施し、子どもの健康増進や社会参加の促進を図った。</p>

●目標達成の見通し及び今後の対策

歩行者・自転車通行量の最新値（13,813人）が平成25年度の基準値（15,002人）を下回っており、目標達成の見通しが立たない状況にあるが、平成28年9月に石巻市立病院、平成29年5月に生鮮マーケットが完成予定であり、中心市街地の都市機能が形成されることにより、人の往来が生まれ交流人口の増加に繋がるものと見込まれる。

また、石巻駅周辺整備事業も実施中であり、都市各拠点である石巻駅周辺地区の道路整備によって、交通渋滞の緩和や歩行者・自転車通行量の増加に効果があることから、これらの事業について今後の展開を注視していく必要がある。